

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 防府市なかよし園		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 4日		～ 令和7年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 4日		～ 令和7年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・難しい場面でも少ない人数ながら、みんなで協力して対応に当たることができる。	・繰り返しで情報共有することにより、業務に支障がないようにしている。	・現状職員の不足(常勤)が続いているので、何とか人材を確保して欲しいと思う。
2	・同じ法人で障害者の事業所がいくつかある。	・障害児から者までの支援ができるような体制があり、家族もその後のことが想像できるのではないと思う。	・広報活動を検討、企画し情報を発信することで法人内の事業所を地域に広く認知してもらえる。
3	・多職種による色々な視点を持った支援が出来る ・親子参加行事を開催している。	・特別療育の実施 ・家庭で行う前の練習として公園に行ったり、クッキングをしたりしている。 また親同士のつながりが持てるような内容も取り入れている。	・専門的研修等を通して知識や技術の向上に努めることでより質の高い特別療育を提供していく。 ・内容の充実の為に行事数の調整を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の異動や退職により、計画的な人材育成が難しい。	・法人全体で圧倒的な人材不足。 ・必ず資格取得者で児童福祉や障害児、保育、子育てに関する知識や技術を熟知している人材が必要である。	・法人内や事業所内での人材確保のために専門性を生かした人材育成研修を取り入れる。
2	・1が原因で、中・長期の事業計画が作成・実施し難い。	・職員個々が人事異動に対して消極的である。異動先での仕事への不安が大きい。	・職員の退職や人事異動があっても事業所としての方針や目標・支援内容を具体的に明確にする事で、誰に変わっても直ぐに実施できるように事業計画を立てることが必要。誰がいつ異動になっても日常業務が継続できる体制を整備しておくことで異動への不安が軽減できる。
3			